

# 26年5月のカレー物価 1食361円 「ショック前」水準に戻る

急激な「コメ安」家計に恩恵  
令和のコメ騒動発「カレーショック」収束へ

## 「カレーライス物価指数(2026年基準改定)」調査 —2026年5月



本件照会先

飯島 大介 (調査担当)  
帝国データバンク  
東京支社情報統括部  
03-5919-9343 (直通)  
情報統括部: tdb\_jyoho@mail.tdb.co.jp

発表日

2026/07/10

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。  
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

## 次回調査の公表予定

2026年6月の発表は  
2026年8月10日(月)午前10時

## SUMMARY

カレーライスを家庭で調理する際に必要な原材料や水道光熱費などの価格(全国平均)を基に算出し、食卓に与える物価高の影響を可視化した「カレーライス物価(平均、2026年基準改定)」は、2026年5月平均で1食あたり361円となった。前年(2025年5月:349円)からは+12円・3.4%の上昇となった。前年からの値上げ幅が10円台での推移となるのは、「令和のコメ騒動」が本格化する前の2024年6月以来、約2年ぶりとなる。

株式会社帝国データバンクは、食卓への影響度を示す「カレーライス物価指数」を独自に試算した。

[注1]カレーライス物価:カレーライスで使用する原材料や、調理にかかる水道光熱費などを独自に試算した指数。

ビーフカレー・ポークカレー・チキンカレー・シーフードカレー・野菜カレーの5メニュー平均値

各種価格データは「小売物価統計調査(総務省)」のうち各都市平均値(全国平均)を参照。調理シーンは「6食分(市販のカレールー1/2パック)をまとめて調理した」ものとした。

カレーライス物価指数:各月のカレーライス物価を基に、2020年平均=100とした価格推移

[注2]カレーライス物価は2026年1月に調査対象・容量を一部変更し、2015年1月分まで遡及改定を行っている

# 2026年5月のカレーライス物価:1食 361円

## 高値予想から一転、「カレーショック前」水準に戻る

カレーライスを家庭で調理する際に必要な原材料や水道光熱費などの価格(全国平均)を基に算出し、食卓に与える物価高の影響を可視化した「カレーライス物価(平均、2026年基準改定)」は、2026年5月平均で1食あたり361円となった。前年(2025年5月:349円)からは+12円・3.4%の上昇となった。前年からの値上げ幅が10円台で推移したのは、「令和のコメ騒動」が本格化する前の2024年6月以来、約2年ぶりとなる。

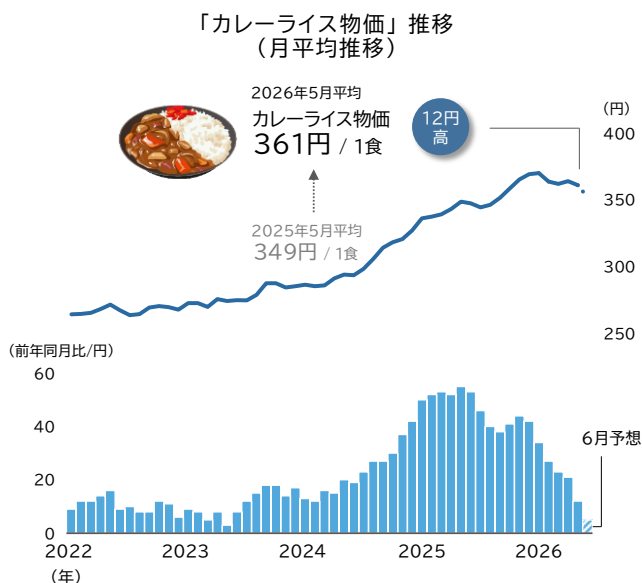
前月(2026年4月:364円)からは3円低下した。全国の物価の先行指標となる東京都区部の物価動向を基に予想した、前月調査時点の予想値(366円)を5円下回り、当初予想から一転して下落した。

前年同月からの推移では、全メニューで前年を上回った。ただ、メニューによって値上げ幅は異なり、最も値上げ率が高いメニューは「シーフードカレー」(512円)で、前年から24円・4.9%の上昇となった。「チキンカレー」(224円)は、前年から+9円・4.2%上昇した。輸入鶏肉の価格高騰など局所的な値上げ圧力はあるものの、24年8月以来、約2年ぶりに金額の上昇幅が1ケタ台となった。ピーク時には値上げ率が30%を超えた2024~25年に比べ、値上げ傾向は沈静化しつつある。全メニューのうち前年からの変動幅が最も小さいのは「ビーフカレー」(473円)で、前年から+11円・2.4%の上昇にとどまった。

カレーライス物価を強く押し上げてきた「コメ」価格は、令和7年産米を含む広範囲なコメ流通で需給ギャップが徐々に落ちつき、2025年には一時5kgあたり5000円を超えたものの、急激に値下がりしている。他方で、ジャガイモやタマネギなど主要な野菜類では、徐々に入荷数が増加したことで急激な値上がりは落ち着いたものの、依然として高値が続いた。畜肉価格でも、円安による生産コスト高や輸入コストの上昇といった背景もあり、価格は高止まりが続いている。この結果、肉類や野菜などの価格高騰分をコメの値下がりが吸収する形で、カレーライス物価全体は値下がり傾向に転じた。

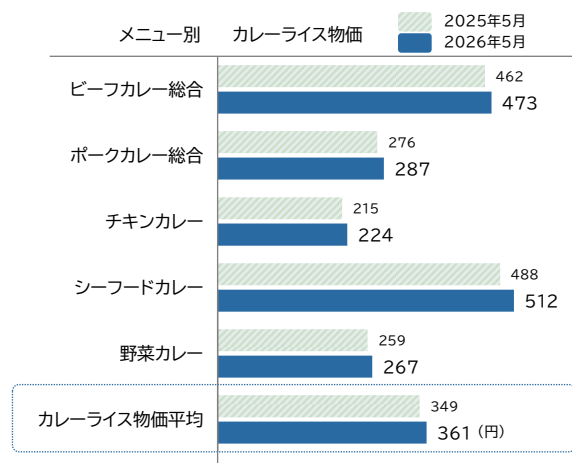
各メニューのカレーライス物価平均を基に、2020年平均を基準(100)とした独自算出の「カレーライス物価指数」をみると、2026年5月の指数は141.0だった。

### カレーライス物価の動向(月平均、2020年以降)



[出所] 総務省「小売物価統計調査」を基に帝国データバンク作成  
[※] カレーライス物価:カレーライスで使用する原材料や、調理にかかる水道光熱費などを独自に試算した指数

### メニュー別「カレーライス物価」



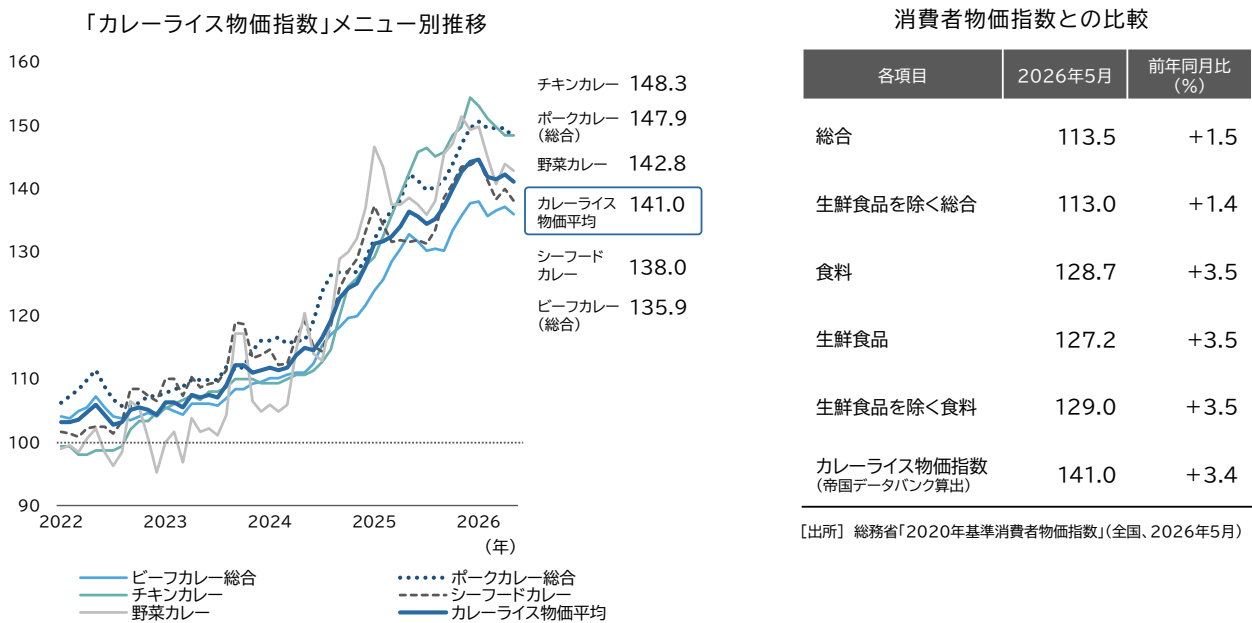
## 今後の見通し：2026年6月＝352円予想

### 9カ月ぶり安値、「第二次カレーショック」前の水準に

全国の物価の先行指標となる東京都区部の物価動向を基に予想した2026年6月のカレーライス物価は1食あたり平均352円前後で推移する見通しとなった。5月から9円の下落となり、2025年9月以来の安値水準となった。また、前年からの値上げ幅は5円(347円→352円)となり、1ヶ台の推移は2023年6月以来、約3年ぶりとなる。値上げペース・1食あたりの金額を含め、コメ価格の高騰と野菜高が押し上げた「第二次カレーショック」前の水準に戻りつつある。

2025年に発生したコメの急激な価格高騰が収束し、前年を大幅に下回る水準が続いていることが、カレーライス物価をはじめ食卓の大きなコスト低下要因となる。米穀安定供給確保支援機構(米穀機構、東京・中央)が6日発表した6月調査分のコメの価格見通し判断DI(動向指数)では、在庫の積み上がりによる余剰感から先安観が一段と強まった。カレーライスの主要具材となるタマネギや、輸入牛肉・鶏肉などは依然として高値安定が続くものの、大部分を占めるコメ価格の下落が著しく、カレーライス物価は急激に低下している。今後も、暑さによる生育遅れなどから豚肉などの価格上昇が見込まれ、夏場にかけて肉・野菜類ともに大幅な値上がり局面に直面する可能性はあるものの、コメ安が各種具材のコスト増を打ち消す形で、これまでの上昇予想から一転して「当面下落が続く」とみられる。

#### カレーライス物価指数の動向



各メニュー別の具材は、各レシピサイト等を基に下記の通りと定義した(ごはん[ライス]、水道光熱費は共通)

【ビーフカレー】牛肉(国産・輸入)・タマネギ・ジャガイモ・ニンジン・食用油・カレールー

【ポークカレー】豚肉(国産・輸入)・タマネギ・ジャガイモ・ニンジン・食用油・ヨーグルト・カレールー

【チキンカレー】鶏肉(国産・モモ)・ニンジン・食用油・カレールー

【シーフードカレー】エビ・ホタテ貝柱・イカ・ニンジン・トマト・タマネギ・食用油・白ワイン・カレールー

【野菜カレー】タマネギ・ジャガイモ・ニンジン・ナス・シメジ・ブロッコリー・食用油・カレールー